

「(仮称) 栗東はつらつ100歳条例(案)」に対する意見募集結果について

市議会では高齢者の方が健康寿命を延ばし地域社会で活躍するまちづくりのため「(仮称)栗東はつらつ100歳条例(案)」にかかる、パブリックコメントを行いました。その結果ならびにいただいた意見の概要とそれに対する議会の考え方をお知らせします。

【意見募集の概要】

意見募集期間:令和2年10月5日(月)～10月30日(金)

意見募集の周知:広報りっとう、市ホームページ

閲覧場所:情報公開コーナー、各学区コミュニティセンター、議会事務局窓口、市議会ホームページ

意見の提出方法:持参、郵送、ファックス、メール

【意見募集の結果】

意見の件数:4件(3人)

意見の概要及び考え方

意見番号	意見の概要	市議会の考え方
1	条例の対象者が高齢者だけではなく、全世代に向けて「世代間交流で全世代が連携・協力」の文言ではどうか。	この条例は高齢者が自他ともに輝くために全世代で「人生100年時代」に取り組んでいくものとしており、いただいたご意見の趣旨を含んだ内容となっていますので、原案のとおりとします。
2	高齢者本人が老いを自覚できるように、65歳前後の市民全員に「健康づくり」を呼びかけるとともに、栗東市の取り組みを紹介し、早期からの自覚と自助努力を促すことを明文化できないか。	高齢者の責務として「老いには備えが必要であり、一人ひとりが自助努力をもって学ぶこと、実践すること・・・」としています。 なお、この条例は理念を謳っているものであり、個別の事業の取り組みを紹介することはなじみませんので、原案のとおりとします。
3	介護保険及び健康保険制度の観点から、健康づくりに実績がある人や頑張った人に、何らかの特典制度を導入できないか。	この条例は理念を謳っているものであり、個別施策を記載することはなじみませんので原案のとおりとします。 なお、ご意見の趣旨は市の担当課に伝達します。
4	100歳大学等の活動に自主的に参加する市民を増やすために何かインセンティブとなる仕組みや事業を明記できないか。	